

Frequency of immediate-type food allergy in children in Japan

出典 Int Arch Allergy Immunol. 1999 Feb-Apr;118(2-4):251-252.
(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/10224400>)

著者 Iikura Y 他

調査地域 日本全国

調査時期 1996～1997年

調査対象 保育園児 (0～6歳)

回収数 1548人

有効回答数 1336人

診断方法 自己申告 (既往)

有症率 12.60%

調査概要 全国の保育園児を対象に即時型食物アレルギーの有症率を調査した論文。原因食物は、鶏卵(52.3%)、牛乳(31.8%)、魚介類(10.6%)の順に多かった。長期間の食物除去をしている児に成長(身長、体重)速度の低下が見られた。